



2023年 冬号
発行元
大垣市立図書館

かわいさきもの展

はじまる



戸田氏庸筆「龍虎之巻」

今年の干支である兔(うさぎ)などの生きものをテーマとした展示が、1月から始まりま
す。戸田氏庸筆「龍虎之巻」のほか、掛軸や引札など、大垣市立図書館が所蔵する貴重資料12点を公開します
今回は展示作品のぬり絵もあります。愛らしいきものたちの絵をお楽しみください。

1・2・3月の講座

- ふるさと古文書講座
1月13日(金)
2月10日(金)
3月17日(金)
- オンライン歴史講座
1月9日(月祝)
- 郷土資料講座
1月23日(月)
1月30日(月)
2月6日(月)
2月27日(月)

【開催場所・期間】

大垣市立図書館
3階郷土資料室展示コーナー
令和5年1月6日(金)
～3月30日(木)

午前9時～午後5時まで

(休館日：毎週火曜日)

- 1月11日・27日
- 2月13日・24日
- 3月6日・10日・22日



※ポケット学芸員利用可
詳細は右記QRコードをご確認ください

大垣市図書館 2階連絡通路

大垣の風景

開催中

令和4年度郷土資料講座は、ハイブリッド形式で

「藤渠漫筆を読む」



【日時・開催場所】

令和5年1月23日(月)・30日(月)、
2月6日(月)・27日(月)【全4回】
午後1時半～午後3時まで

〈会場受講〉

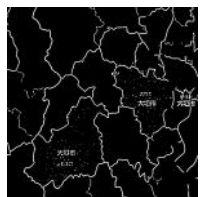
サイトピアセンター

学習館2階サイトピアホール

〈オンライン受講〉

ZOOMによるオンライン配信

大垣の冬占い



快晴続くも風強く
非常に寒い
「湧水」を使った
鍋をつついて
金運アップ!

郷土の歴史について資料を読み解きながら学んでいく、郷土資料講座が1月より開講します。

今年度は、大垣藩医・江馬活堂が江戸末期から明治初期の大垣のようすを記した『藤渠漫筆』を読み解きます。元大垣市史編纂室専門員の横幕孜氏が講師を担当します。この講座も会場の対面方式とオンライン配信を実施します。ご都合のよい方法でご参加ください。

こちらのQRコードより申し込み可能・大垣市電子申請サービス画面が起動します



※申し込みは

1月18日(水)まで

大垣よもやまコラム

ものがたり大垣城

(2)大垣城は、秀吉の「かなめの城」

坂東 肇

天正12年(1584)に羽柴秀吉と織田信雄(信長の二男)・徳川家康連合軍の間で小牧・長久手の戦いが行われました。小牧・長久手の戦いとは、本能寺の変の後に行われた信長の後継者争いです。この戦いでは、羽柴軍の池田恒興(当時の大垣城主)や森長可が討死して、秀吉にとつ

ては厳しい戦いでした。その年のうちに和議が成立して、戦いはおさまりますが、秀吉は大垣城を最前線基地として再軍備をしました。家康を攻め滅ぼすために、大垣城に大量の兵糧をたくわえたのです。

秀吉は大垣城主・一柳直末への書状の中で「かなめの所

大栴之城」と書いているように、一番重要な城と考えていたようです。この時の想定される兵力は、秀吉方が約十萬、家康方が約四萬程度でしたから、まともに戦ったら家康方はひとたまりもなかったでしょう。

しかし、運よく家康は命拾いをしました。それは、天正13年11月29日の天正大地震により大垣城が崩壊して、兵糧はすべて焼失してしまったからです。地震直後に城の再建は行われたと思いますが、それについての確かな資料はありません。ただ、この頃のものとして予想される金箔瓦や『大垣市史』(昭和5年)記載の天守筒瓦から考えると、もしかして天正年間に天守が造られた可能性も考えられます。このことについては、次号で紹介いたします。

おせち料理にいれる料理は『大垣市史 民俗編』【231】によくと「おせち料理はどこかの家庭でも今とあまり変わらな

い。黒豆、田作り、数の子、なます、里芋、ゴボウ、レンコン、大根、根布巻きなどである」とあります。また、「正月の食事」(P.238)に「雑煮の中には、四角に切った餅、餅菜、そして里芋(子芋)をいれた。里芋をいれるのは、「皆、親頭になつてほしい」とも「親方になれるような器のある人間になつてほしい」といった願いからだ」と記述があります。

古川定男著「川魚の話」『月刊西美濃わが街30(1971)』には、「昔は、お祭りやお正月にはどこの家庭でも必ずといっていいほど、鮎の煮付けが家庭料理のごちそうとして使われていました」と記述があります。

大垣青年会議所編『西美濃の自然とくらら』【1382】には、「西濃地方の風俗や習慣についてまとめられており、「第三章味」の「明治末から大正にかけての四季の味」や「正月の味」などの項目に、正月に関する料理「しっぽく、お雑煮、正月のなます、身欠き五目飯、いどこ煮など」が紹介されています。

おすすめの1冊

『低湿地に立地した輪中の特質と輪中の教材化』

大垣市輪中館開設30周年を迎えて



3階郷土資料室(郷土)にてご覧頂けます。

輪中館は、水害の歴史と輪中の人々の生活と知恵を学ぶ体感できる学習施設です。この本は輪中館が開設されて30周年を迎えたことを機に発行されました。輪中館や研究会の歩み、輪中に関する事例研究、小学校における輪中についての学習など、輪中を多角的な観点から知ることが出来ます。

レファレンス事例簿

【問い合わせ】

大垣の郷土料理で、おせち料理にいれる料理はないか？

大垣を深めよ!

Gaki word

『秋号』の解答

1. かんだちよう
2. にしとがわちよう
3. むろほんまち
4. にしながちよう
5. たかじようちよう
6. 木戸町
7. 見取町
8. 東外側町
9. 室村町
10. 番組町

○の部分解答せよ
【タテのカギ】

1. 大垣市の魚「○○○」
2. 大橋翠石といえは○○○

【ヨコのカギ】

1. 俳人や画工などが着た胴着「○○○」
3. 江戸時代の青墓名物、○○饅頭

1		2
	●	
3		

ヒントは『図説大垣市史』に、解答は次号(春号)に掲載します。



(町名は『水都大垣の地名』による。地図は『国土地理院地図』を加工)